科目名称: 基礎報	教養 Ⅱ	
担当者名: 幼児教	教育学科1年生、2年生担任	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1

授業の達成目標・到達目標

- ・継続的な生活習慣、学修習慣を身に付け、それぞれの科目で学ぶ知識や技能を定着させる。 ・様々な知見に触れ、新しい経験をする中で視野を広げ、近い将来、専門職に就く人間として人格を高め磨いていくこ とが望まれる。

基礎教育		ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与の方針)	重点項目
DP(1)		の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎 社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につ	0
DP (2)		P技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの 一貢献できる実践力を身につけている。	
DP (3)		できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的 もに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができ	
DP (4)		、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その活用力が身についている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)	60		30	10	100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
全学DP(4)					0
			•		100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容(内容・経験年数を記載)		
なし	《内容 1》	《経験年数1》	
	《内容2》	《経験年数2》	
	《内容3》	《経験年数3》	
	《内容4》	《経験年数4》	
/#: -#z			

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
事前学修(「学外活動」及 びレポート、小レポート、 調べ学習)	期待以上の主体的な 事前学修に取り組ん でいる。	全ての事前学修に取り 組んでいる。	ほぼ事前学修に取り 組んでいる。	事前学修を全くしていない。
自分の考えの伝え方(グ ループワークなど)	他者の考えを尊重し、自分 の考えを他者が納得できる ように伝えることができ る。	他者の考えを尊重し、自分の 考えを論理立てて伝えること ができる。	他者の考えを尊重し、自 分の考えも伝えることが できる。	

授業の内容	容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回	主体的な学びのすすめ① 計画を立てて行動する (金城祭・クラスおよび幼児教育学科企画に関して)	シラバスを再度読んでおく。	10分
第2回	主体的な学びのすすめ② テーマ:学外活動	参加のための具体的計画を立て、第12回授業 までに学外活動に1回以上参加する。	30分
第3回	2 年生の取組に参加して学ぶ① 金城祭・幼児教育学科企画	2年生の取り組みからの学びをまとめ担 任に提出する。(小レポート)	30分
第4回	いろいろな考えを「話す」「聴く」「受けとめる」「考える」「発表する」 ① テーマ:「金城祭」の振り返り	小レポートを担任に提出する。	15分
第5回	保育士資格・幼稚園免許を取るということ、保育者 になるということ	事前に配付された資料を熟読しておく。	20分
第6回	主体的な学びのすすめ③「調べる」「まとめる」 「発表する」① テーマ:実習準備	必要な情報を収集し、発表準備(資料・ 教材作成、練習など)をする。	90分
第7回	2年生の取組に参加して学ぶ② 実習報告会	事前に配付された資料を読んでおく。	30分
第8回	主体的な学びのすすめ④「調べる」「まとめる」 「発表する」② テーマ:実習準備	発表の準備物(資料・教材など)を確認し、 必要に応じて練習しておく。	30分
第9回	主体的な学びのすすめ⑤ テーマ:実習	実習に必要なものが全て準備できている か確認しておく。	30分
第10回	いろいろな考えを「話す」「聴く」「受けとめる」 「考える」「発表する」②	事前に配付された資料を熟読しておく。	20分
第11回	2年生とのチュートリアル KINJO特化履修説明会	事前に配付された資料を熟読しておく。	20分
第12回	いろいろな考えを「話す」「聴く」「受けとめる」「考える」「発 表する」③ テーマ:「学外活動」からの学び、一年間の振り返 り・まとめ	「学外活動」に2回以上参加し、1週間以内に レポートを作成し担任に提出する。	60分
第13回	2年生の取組に参加して学ぶ③ ミュージックフェスティバル	2年生の取り組みからの学びをまとめ提 出する。(小レポート)	20分
第14回	2年生の取組に参加して学ぶ④ KINJO特化成果発表 会	各特化担当者から指示された課題に取り 組む。	30分
第15回	2年生の取組に参加して学ぶ⑤ KINJO特化成果発表 会	各特化担当者から指示された課題に取り 組む。	30分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。また、事前事後学修としては、上記内容以外に次回までの小レポートをまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、60%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。 授業への積極的関与10%、提出課題30%

課題に対してのフィードバック

小レポートの記述内容などを担任チームで共有・検討し、次回以降の授業でフィードバックしていく。

教科書・参考書

『KINJO Campus Guide』、必要に応じてプリントを配付する。